

平成27年10月6日

当座勘定取引先 御中

日 本 銀 行

「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」等の一部改正について

新日銀ネットの第2段階開発分<sup>(注)</sup>の稼動開始に伴い、勘定店における現金受払等の際に取引先を特定するために使用するコードが7桁の金融機関等店舗コード（金融機関等コード（4桁）+店舗コード（3桁））に変更されることとなり、これを受けて書式や銀行券束受入機の操作方法を見直すこととしました。

また、事務取扱根拠の明確化の観点から、当座勘定取引を廃止する場合、取引廃止前に入金した現金に過不足が発生した際の取扱いについて明文化することとしました。

これに伴い、「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」、「日本銀行が行う受直送および直送払に関する細則」および「日本銀行が行う損傷現金の引換えに関する取扱手続」（以下「細則等」という。）を別紙1から別紙3までのとおり一部改正し、別紙4の経過措置を講じたうえで、平成27年10月13日から実施することとしましたので通知します。

なお、改正後の細則等につきましては、上記実施日に、本ホームページに掲載します。

(注) 日本銀行金融ネットワークシステムについて、その対象業務等のうち、金融市場調節および国債の入札関連業務ならびに国債の売買による金融市場調節等の受渡関連業務以外のものを対象として新たに構築するシステムをいいます。

以 上

「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」中一部改正

- 2. (5) イ. を横線のとおり改める。

## 2. 現金の受入

### (5) 受入手続

イ. 取引先は、現金の受入に当たっては、午後3時までに、必要な人員および車両を勘定店に到達させるとともに、当座勘定入金帳および入金内訳（銀行券）、入金内訳（貨幣・通常貨）または入金内訳（貨幣・記念貨）を勘定店の所定の窓口に提出してください。

入金内訳（銀行券）、入金内訳（貨幣・通常貨）または入金内訳（貨幣・記念貨）の記入に当たっては、以下の事項に留意してください。

- ・
- ・ } 略（不変）
- ・
- ・ 代理人たる別法人が、取引先に代わり入金内訳（銀行券）、入金内訳（貨幣・通常貨）または入金内訳（貨幣・記念貨）を記入する場合には、「コード番号< 7-5桁>・取引先名」欄に、取引先の金融機関等店舗コード番号および名称に加え、当該別法人名および当該別法人がその取引先の代理人である旨を記入してください。
- ・
- ・ } 略（不変）
- ・

- 3. (4) イ. を横線のとおり改める。

### 3. 現金の払出

#### (4) 払出手続

イ. 取引先は、現金の払出に当たっては、午後3時までに、必要な人員および車両を勘定店に到達させるとともに、当座小切手（ただし、オンライン払戻請求による場合は当座勘定払戻確認情報記入票）および支払金内訳を勘定店の所定の窓口へ提出し、番号札を受領してください。

支払金内訳の記入に当たっては、以下の事項に留意してください。

- ・
  - ・
  - ・
- } 略（不変）

- ・ 代理人たる別法人が、取引先に代わり支払金内訳を記入する場合には、「コード番号<7-5桁>・取引先名」欄に、取引先の金融機関等店舗コード番号および名称に加え、当該別法人名および当該別法人がその取引先の代理人である旨を記入してください。
- ・ 略（不変）

- 4. (6) の次に次の(7)を加える。

#### (7) 当座勘定取引を廃止する場合の過不足決済の取扱い

取引先が当座勘定取引を廃止する場合、廃止前に日本銀行に入金した現金に過不足が発生した際の取扱を約した書面を、予め日本銀行に差し入れていただくことがあります。

○ 書式第2号-1(a)を横線のとおり改める。

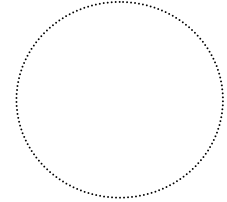
書式第2号-1(a)

受付番号

入金内訳(銀行券)

(日付) . .

券種	金額	摘要
略(不変)		



合計金額

合計金額		
		千円

(コード番号<7-5桁>・取引先名)

(顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す

[Dashed rectangular box for stamp or signature]

○ 書式第2号-1 (b) を横線のとおり改める。

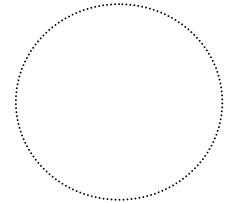
書式第2号-1 (b)

入金内訳 (銀行券)

(日付) . . . . .

受付番号
------

券種	金額	摘要 (注)
略 (不変)		



合計金額		
		千円

(コード番号< 7 桁 > ・取引先名)

(顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す

--

(注) 略 (不変)

○ 書式第2号-2を横線のとおり改める。

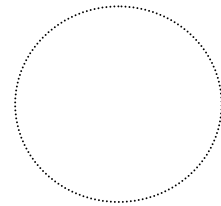
書式第2号-2

入金内訳（貨幣・通常貨）

受付番号
------

（日付） . .

種類		金額		
貨種	素材・量目	正貨	損貨	
略（不変）				



合計金額		
		千円

（コード番号<7 5桁>・取引先名）

（顔写真登録番号）授受責任者には○を付す

--

○ 書式第2号-3を横線のとおり改める。

書式第2号-3

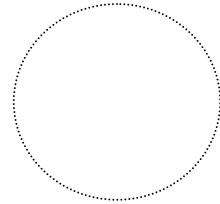
入金内訳（貨幣・記念貨）

受付番号

（日付）

種類		金額
貨種	素材・量目	
略（不変）		

（ 枚）



∫

（ 枚）

合計金額		
		千円

（コード番号<7 5桁>・取引先名）

\_\_\_\_\_

（顔写真登録番号）授受責任者には○を付す

\_\_\_\_\_

○ 書式第3号を横線のとおり改める。

書式第3号

### 支 払 金 内 訳

番号札
-----

(日付) . . . . .

金 種	金 額	内 訳		
		印刷局封	日銀封	
銀行券	略 (不変)			
貨幣				
合 計				

(コード番号< 7 桁 > ・取引先名)

\_\_\_\_\_

(顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す

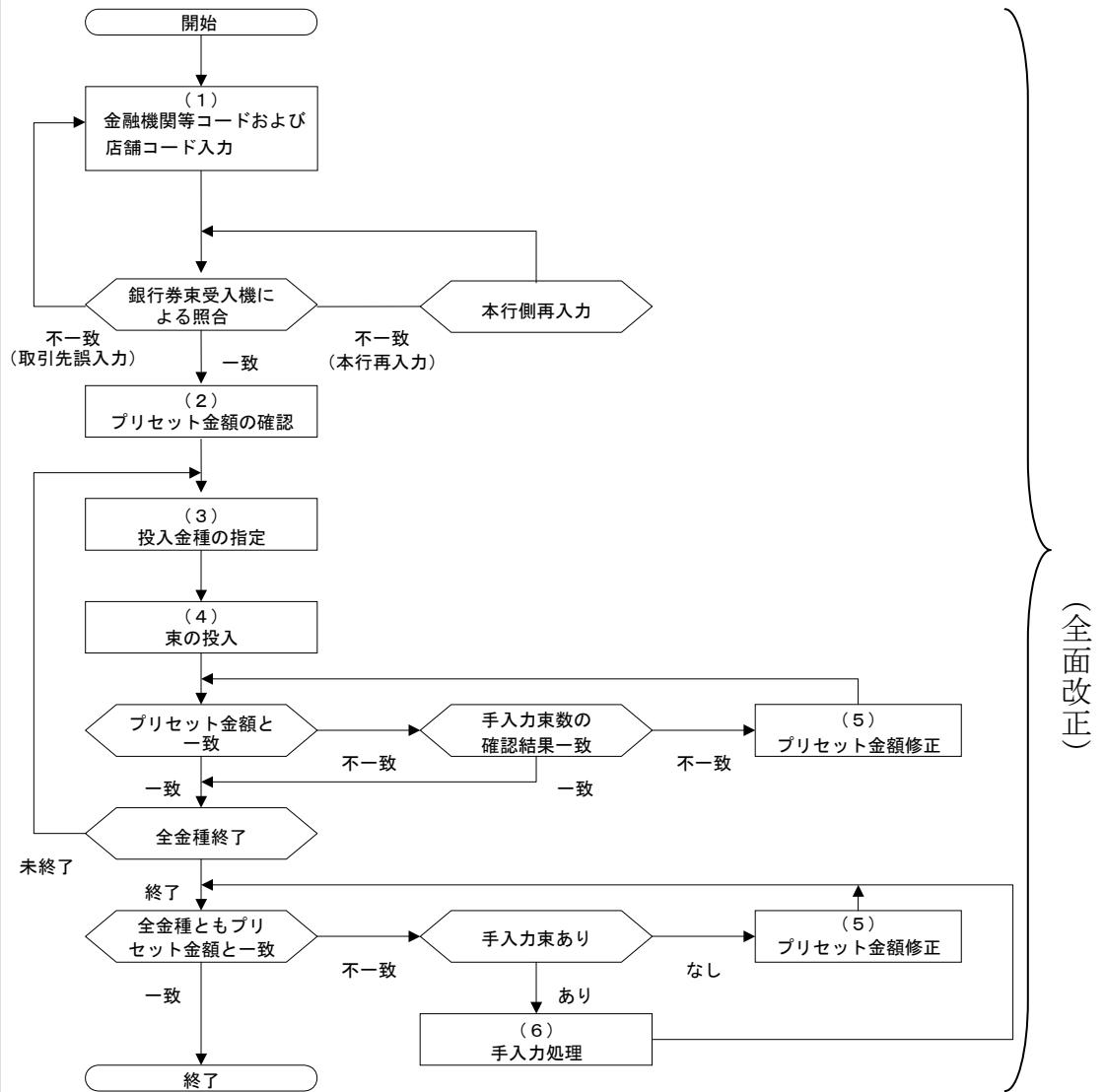
--



○ 別紙2の冒頭から2. までを次のとおり改める。

### 銀行券束受入機（BB-4型）により銀行券の受入を行う場合の機械操作方法等

○ 銀行券束受入機（BB-4型）により銀行券の受入を行う場合の機械操作方法等は、次の手順により行ってください。



#### 銀行券束受入機による照合①

取引先が入力した金融機関コード番号と銀行券束受入機の金融機関マスターに登録されている金融機関コード番号とを照合する。

#### 銀行券束受入機による照合②

取引先が入力した金融機関等コードおよび店舗コード（以下「金融機関コード等」という。）番号と日本銀行が入力した金融機関コード等番号とを照合確認する。

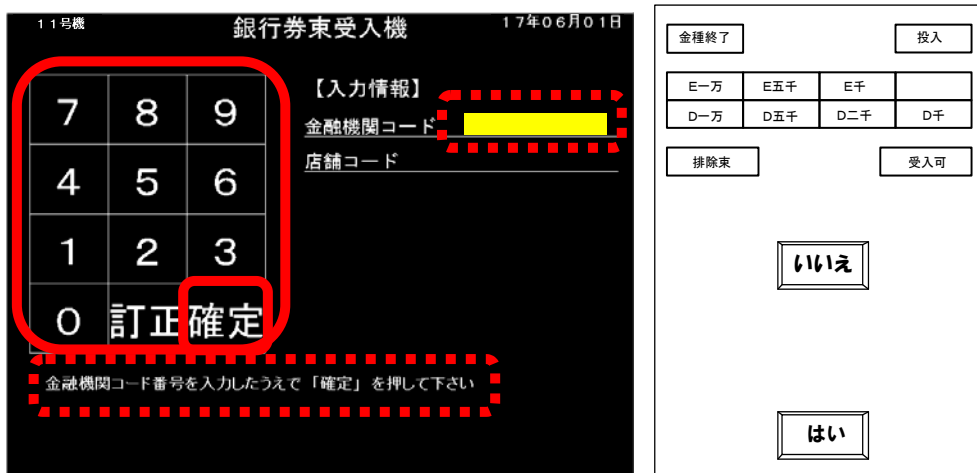
# 1. 金融機関コード等 番号(5桁)の入力

○ 金融機関コード等番号(5桁)を入力する場合の操作手順は、次のとおりです。

## 操作手順

- ① 『金融機関等コード番号入力』画面の[操作／異常ガイダンス]欄に「金融機関コード番号を入力したうえで「確定」を押して下さい」と表示されていることを確認してください。

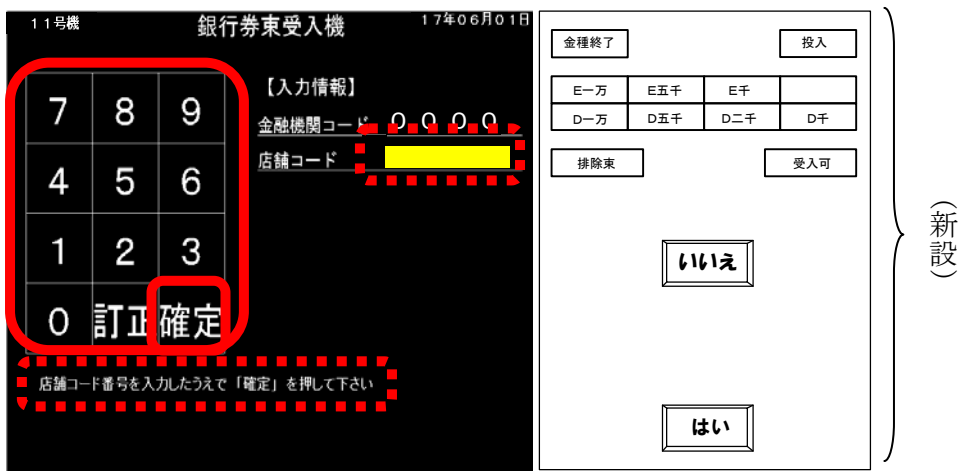
『金融機関等コード番号入力』画面



- ② 金融機関等コード番号(4桁)を入力した後、入力内容が正しければ、**確定**を押してください(店舗コード番号は自動表示されます)。

- ③ 『店舗コード入力』画面の[操作／異常ガイダンス]欄に「店舗コード番号を入力したうえで「確定」を押して下さい」と表示されていることを確認してください。

『店舗コード入力』画面



- ④ 店舗コード（3桁）を入力した後、入力内容が正しければ、  
**//確定//**を押してください。

(注意事項)

- ~~金融機関コード番号（5桁）~~入力に誤りがある場合は、操作パネルの、**//訂正//**を押して（~~入力内容した金融機関コード番号<5桁~~⇒は自動消去されます）、~~金融機関コード番号（5桁）~~を再入力してください。
- 金融機関コード等入力後、操作パネルの**//確定//**を選択すると、入力した金融機関コード等番号と日本銀行が入力した金融機関コード等番号とを銀行券束受入機により照合確認したうえで、一致している場合は、『プリセット金額確認』画面（金融機関等店舗コード番号・同名称のほか、金種別・合計金額を表示）が表示されます。  
なお、不一致の場合は、『金融機関コード等番号入力不一致』画面が表示され、同画面の[操作／異常ガイダンス]欄に「金融機関コード番号等不一致、本行担当者をお呼び下さい」のメッセージが表示されますので、日本銀行職員をお呼びください。

『金融機関コード等番号入力不一致』画面

11号機			銀行券束受入機			17年06月01日		
7	8	9	【入力情報】					
4	5	6	金融機関コード	0	0	0	0	0
1	2	3	店舗コード	0	0	1		
0	訂正	確定	【日本銀行プリセット情報】					
			金融機関コード	0	0	0	0	0
			店舗コード	0	0	1		
金融機関コード番号等不一致、本行担当者をお呼び下さい								
入力情報が正しいときは「確定」/違うときは「訂正」を押して下さい								
金種終了			投入					
E一万	E五千	E千						
D一万	D五千	D二千						
排除束			受入可					
いいえ								
はい								

## 2. プリセット金額の確認

- 金融機関等店舗コード番号（7-5桁）・同名称（漢字等で最大8桁）および金種別・合計金額等（以下「プリセット金額」といいます。）の確認を行う場合の操作手順は、次のとおりです。

### 操作手順

- 略（不変）

#### 『プリセット金額確認』画面

金種	受入金額 千円	プリセット金額 千円
E一万		1,000,000
E五千		500,000
E千		100,000
D一万		1,000,000
D五千		500,000
D二千		200,000
D千手受		100,000
合計		3,400,000

プリセット金額は正しいですか  
正しいときは「はい」/違うときは「いいえ」を押して下さい

金種終了	投入		
E一万	E五千	E千	
D一万	D五千	D二千	D千
排除束	受入可		
いいえ			
はい			

#### (注意事項)

- 略（不変）

#### 『プリセット金額確認』画面（確認終了後）

金種	受入金額 千円	プリセット金額 千円
E一万		1,000,000
E五千		500,000
E千		100,000
D一万		1,000,000
D五千		500,000
D二千		200,000
D千手受		100,000
合計		3,400,000

投入金種ボタンを押して下さい

金種終了	投入		
E一万	E五千	E千	
D一万	D五千	D二千	D千
排除束	受入可		
いいえ			
はい			

- 略（不変）

○ 次に掲げる条文の取引先用操作パネルの画面中、金融機関等コード表示を5桁から7桁に改める。

- ・別紙 2 3. 操作手順①、②、③、④、⑤、⑥および⑦
- ・別紙 2 4. 操作手順①、②および同（注意事項）
- ・別紙 2 5. 操作手順②、③および同（注意事項）
- ・別紙 2 6. (1) 操作手順①および③
- ・別紙 2 6. (2) 操作手順①および③

<画面例>

11号機		銀行券束受入機		17年06月01日	
金融機関コード		XXXXX			
金種	受入金額	千円	プリセット金額	千円	
E一万			1,000,000		
E五千			500,000		
E千			100,000		
D一万			1,000,000		
D五千			500,000		
D二千			200,000		
D千手受			100,000		
合計			3,400,000		
投入金種ボタンを押して下さい					

「日本銀行が行う受直送および直送払に関する細則」中一部改正

- 3. (2) イ. (イ) および ロ. (イ) を横線のとおり改める。

3. 受直送または直送払の手続

(2) 当日の手続

イ. 受直送

(イ) 取引先は、受直送の実施予定時刻の30分前までに、当座勘定入金帳および入金内訳（貨幣・通常貨）を勘定店の所定の窓口に提出してください。

当座勘定入金票・同受付通知書および入金内訳（貨幣・通常貨）には、右上部余白に「支払元貨幣受直送」と付記してください。

入金内訳（貨幣・通常貨）の記入に当たっては、以下の事項に留意してください。

・ }  
・ } 略（不変）  
・ }

- ・ 代理人たる別法人が、取引先に代わり入金内訳（貨幣・通常貨）を記入する場合には、「コード番号< 7-5桁>・取引先名」欄に、取引先の金融機関等店舗コード番号および名称に加え、当該別法人名および当該別法人がその取引先の代理人である旨を記入してください。

## ロ. 直送払

(イ) 取引先は、直送払の実施予定時刻の30分前までに、当座小切手および支払金内訳を勘定店の所定の窓口へ提出してください。

当座小切手および支払金内訳には、右上部余白に「支払元貨幣直送払」と付記してください。

支払金内訳の記入に当たっては、以下の事項に留意してください。

- ・
- ・
- ・

} 略（不変）

- ・ 代理人たる別法人が、取引先に代わり支払金内訳を記入する場合には、「コード番号<7-5桁>・取引先名」欄に、取引先の金融機関等店舗コード番号および名称に加え、当該別法人名および当該別法人がその取引先の代理人である旨を記入してください。

○ 書式第 4 号を横線のとおり改める。

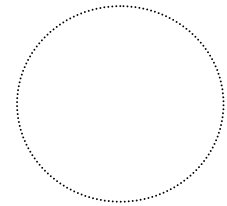
書式第 4 号

受付番号

入金内訳（貨幣・通常貨）

（日付） . . .

種類		金額	
貨種	素材・量目	正貨	損貨
略（不変）			



合計金額		
		千円

（コード番号< 7 5桁>・取引先名）

\_\_\_\_\_





○ 書式第5号を横線のとおり改める。

書式第5号

### 支 払 金 内 訳

(日付) . . .

番号札

金 種	金 額	内 訳		
		印刷局封	日銀封	
銀行券	略 (不変)			
貨幣				
合 計				

(コード番号< 7 - 桁 > ・取引先名)

\_\_\_\_\_

(顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す



「日本銀行が行う損傷現金の引換えに関する取扱手続」中一部改正

- 書式第 2 号 - 2 を横線のとおり改める。

書式第 2 号 - 2

表面

<b>当</b>	引 換 依 頼 書	番号札 No <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> /
(日付) .....		
表の太線のわく内を記入して下さい。		
金融機関等店舗コード番号 (7 桁)		金融機関名
依 頼 金 額		引 換 金 額
		全 額                  半 額
銀 行 券	円	円                  円
貨 幣		小計                  小計
合 計		小計
引換代り金合計		円

入力順番号	
引換依頼金 収納取扱者	
初 鑑	再 鑑

裏面

略 (不変)

経過措置

- 「引換依頼書<sup>当</sup>」、「入金内訳（銀行券）」、「入金内訳（貨幣・通常貨）」、「入金内訳（貨幣・記念貨）」および「支払金内訳」を作成する際には、新書式の調製が完了するまでの間、旧書式を訂正することなく、コード記入欄に7桁の金融機関等店舗コードを記入のうえ使用してください。

なお、コード記入欄に5桁の金融機関等コードを記入した場合には、当該コードに括弧を付し、その上部等の適宜の余白に7桁の金融機関等店舗コードを記入してください。

- 新日銀ネット第2段階開発分の稼動開始日が平成27年10月13日から延期された場合には、日本銀行が改めて設定した新日銀ネット第2段階開発分の稼動開始日までの間、上記書式を作成する際には現行の5桁の金融機関等コードを記入してください。また、銀行券束受入機を使用して銀行券を入金する場合の操作方法については、勘定店の指示に従ってください。

以 上